

1. 事業説明シート

(区分) 国補・県単

事業名	砂防事業 [通常砂防事業 (国補)]	事業箇所	都留市与縄	地区名	上手沢 (ワデサワ)	事業主体	山梨県
-----	--------------------	------	-------	-----	------------	------	-----

(1) 事業の概要

①課題・背景
 本溪流は流域面積0.27km²の土石流危険溪流である。流域内には侵食崩壊による不安定土砂が河床に厚く堆積しており、一部の不安定土砂が下流に流出し河道内に堆積している。このため、台風及び豪雨等の影響により、下流の保全対象に甚大な被害の危険性が懸念される。
 保全対象には、人家55戸、第二次緊急輸送道路である主要地方道県道四日市場上野原線400m、市道650mなどがある。従って、早急に土石流対策の砂防堰堤を整備し、土砂災害を未然に防止する必要がある。

②整備目標・効果
 □主要目標 ○土石流被害の防止
 ・災害実績 無
 整備前 整備後
 土砂整備率 2% → 20%
 流木整備率 2% → 20%
 ・重要公共施設の有無 有 県道 (第二次緊急輸送道路)
 (保全対象=人家55戸、県道400m、その他道路650m)
 □副次目標 —
 □副次効果 ○被災時の被害波及の防止
 ・保全対象に第二次緊急輸送道路 (主要地方道県道四日市場上野原線) を有する

(2) 整備内容

①整備内容
 砂防堰堤 1基 H=7.0m L=34.0m

②着手年度 令和3年度 ③完成見込年度 令和12年度

④総事業費 約530百万円 (国費265百万円 (5/10) 県費265百万円 (5/10))

⑤年度別の整備内容 (事業費)

令和3年度	詳細設計・用地測量	10 百万円
令和4年度	用地取得・立木補償	30 百万円
令和5年度	砂防堰堤工事	50 百万円
令和6年度	砂防堰堤工事	60 百万円
令和7年度	砂防堰堤工事	60 百万円
令和8年度	砂防堰堤工事	80 百万円
令和9年度	砂防堰堤工事	80 百万円
令和10年度	砂防堰堤工事	60 百万円
令和11年度	砂防堰堤工事	50 百万円
令和12年度	砂防堰堤工事	50 百万円

※記載内容は見込みであり、確定したものではない。

⑥既整備内容・期間・事業費
 既整備内容 治山堰堤 8基

(3) 事業の妥当性評価

①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) 妥当 ○ 妥当でない □
 砂防法第5条に基づいており、行政が行うことが妥当

②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) 妥当 ○ 妥当でない □
 砂防法第6条に基づいており、砂防管理者の県が行うことが妥当

③経済妥当性 妥当 ○ 妥当でない □

総事業費	530 百万円	工期	R3 ~ R12	基準年	R2
費用	438 百万円	便益	550 百万円		
建設費	438 百万円	一般資産被害抑止	103 百万円		
維持管理費	百万円	人身被害抑止	39 百万円		
	百万円	公共土木施設等被害	7 百万円		
	百万円	その他※	401 百万円		
B/C		1.3			

※その他は応急対策 (家計)、人的被害 (精神的損失)
 費用便益比 (B/C) は1.0を超えており、経済効率性は確保されている

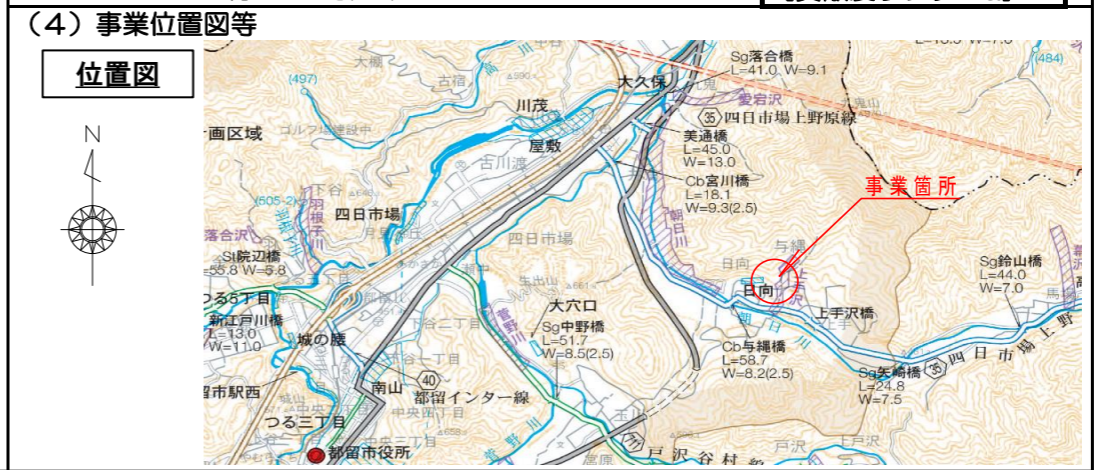
④事業実施・規模の妥当性 妥当 ○ 妥当でない □
 流域の規模、地形、地質等から判断して最も効果的である

⑤整備手法の有効性 妥当 ○ 妥当でない □
 地形・地質及び流域の状況から土石流対策として最も効果的かつ経済的な砂防施設計画とした

⑥環境負荷等への配慮 妥当 ○ 妥当でない □
 掘削法面等に緑化等を施し、環境負荷に配慮

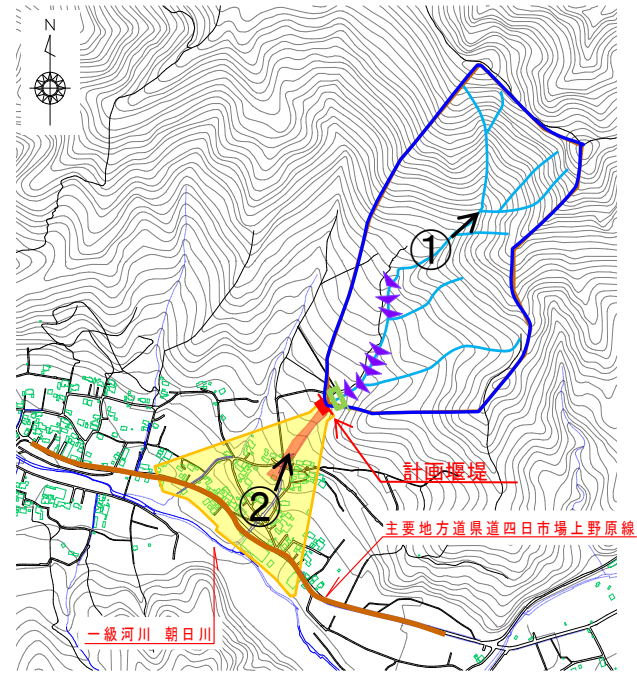
⑦事業計画の熟度 妥当 ○ 妥当でない □
 地元の要望に基づいている

総合評価 [貢献度ランク: a]



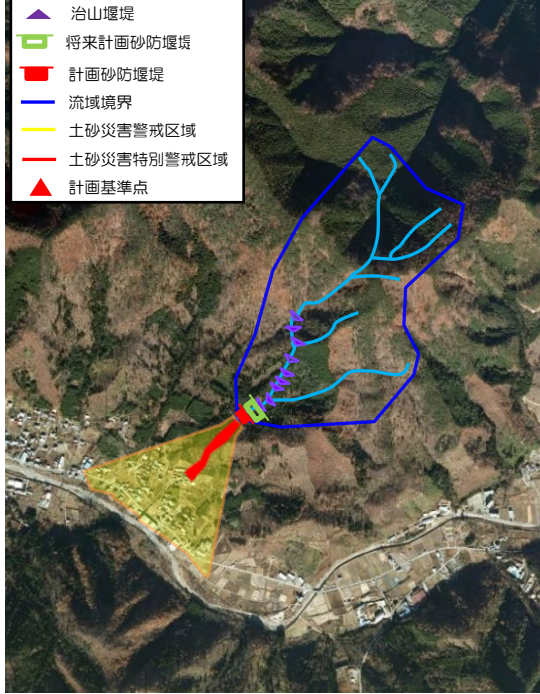
2. 添付資料シート

流域概要図



【 凡 例 】

- ▲ 治山堰堤
- 将来計画砂防堰堤
- 計画砂防堰堤
- 流域境界
- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域
- ▲ 計画基準点



荒廃状況



河床内堆積状況 (計画堰堤下流)



保全対象



保全対象 (人家・県道・市道)



主要地方道県道四日市場上野原線
(第2次緊急輸送道路)

正面図

